

正しく知って「新型コロナウイルス」

ウイルスは、飛沫や手から、目、鼻、口の粘膜を介して体内に侵入します。感染すると、多くの人は軽症で経過しますが、20%程度の人入院治療が必要な状態となり、1~2%の人が亡くなっています。また、若年者で軽症の人でも後遺症があることが分かってきました。予防にはマスクの着用、手指衛生、3密の回避がとても大切です。例えば、自分と相手の双方が正しくマスクを着用することで、ウイルスの吸い込みを7割以上抑える研究結果があります。引き続き基本的な感染予防行動を続けましょう。



正しく知って「新型コロナワクチン」



「新型コロナワクチン」という未来につながる新型コロナ対策がひとつ増えました。多くの人が現在接種しているファイザー社とモデルナ社のワクチンは発症を約90%防ぐとともに、重症化したり、人にうつす可能性を減らすことが分かっています。発熱等の副反応もありますが、大部分は数日以内に回復しています。また、胎児や胎盤に悪影響がある、ワクチン接種で不妊になる研究報告は現時点ではありません。自分だけでなく周りの人を守るためにも、ぜひワクチンを接種しましょう。



なぜワクチンを打ったほうがいいのか？

- ・感染したとしても重症化しにくい。
- ・人にうつす可能性を減らす。
- ・ワクチンを接種することで、ワクチンを接種していない人も守る効果がある。

ワクチン接種後も感染対策

ワクチン接種後の発症予防効果はとても高いものの、100%ではありません。多くの人がワクチン接種を完了するまでまだ時間がかかり、ワクチンを接種した人も接種していない人も、みんな一緒に生活していくことになります。感染を予防するため、マスクの着用、手指衛生、3密の回避を引き続き実施しましょう。



新型コロナワクチンについて正しく知ろう

新型コロナウイルス・新型コロナワクチンについて参考サイト



「新型コロナウイルス
感染症対策室」
岡山市



「新型コロナウイルスワクチン
接種に関する情報提供」
岡山市



「新型コロナワクチンQ&A」
厚生労働省

相談先

岡山県新型コロナウイルス感染症対策室（一般相談窓口） TEL:086-226-7877（24時間対応）
岡山県ワクチン対策室（副反応等に関する専門相談センター） TEL:0120-701-327（全日9:00~21:00）